

別紙様式 1

令和 2 年度使用小学校用教科用図書の採択結果等について

種 目	発行者	採 択 理 由	採択地区名	世羅
国 語	光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決的な学習を実施するための工夫として、教材文の後に、それに合った具体的な学習の進め方が示されている。また、意見文を書く单元では「学習の進め方」として、学習過程をナンバリングで示したり、題材や構成、意見文の例を掲載したりしており、児童の主体的な学びを促しやすい。</li> <li>○考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫として、「交流週間に、1年生とどんな遊びをしたらよいかを班ごとに考える」という議題を設定し、グループで進めるようしている。児童が自ら話し合いの計画を立てられるように手順を示していたり、話し合いで身に付けた力を振り返るような学習の流れとなっていたりしている。</li> <li>○教科書での学習と関連させながら、様々な角度から本に親しむ態度を広げられるよう、読書单元が設定されている。</li> </ul>		
書 写	光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本の定着については、单元名が大きく記され、その隣に目標が示されている。また、線のなぞり、止め、払い、はね、曲がり、折れ、折り返し、結び、そりのイラストが示されている。毛筆の正しい姿勢について見開きで写真により示されていて、児童が理解しやすい。</li> <li>○課題解決的な学習を実施するための工夫として、「もっと知りたい」という特集ページを設定し、日常生活で見られる書体の具体例が示されている。対話的な学びを通して学習を深められるような構成になっている。「学習に生かそう」「やってみよう（第2学年～第5学年）」「書写ブック（第6学年）」「発展（第2学年・第6学年）」の单元で他教科や実生活における活用例が示されている。</li> </ul>		
社 会	東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に学習に取り組む工夫として、大单元の導入において、見開き型のページ構成により、写真やイラスト、グラフ等で「学習問題」を導き出せるようにするとともに、单元の「めあて」を提示している。「つかむ→調べる→まとめる→ひろげる→いかす」という課題解決的な学習過程を確立することによって、主体的な学びとの関係から、児童が学ぶことに興味や関心をもつこと、見通しをもって粘り強く取り組むこと、自己の学習活動を振り返って、次につながるように取り組むことができる。また、单元の合間や单元後の「まなび」「ひろげる」「いかす」のページで、発展的な内容や今後の社会生活に結び付く内容が示されている。</li> <li>○言語活動の充実では、「解説」の中で、専門的な用語の解</li> </ul>		

		説を示している。また、複数ある資料から必要なものを選択し、自分なりに考えをまとめ、友達と話し合うことで、多角的に考えができるようしている。
地図	帝國	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本の定着については、地図帳の使い方を課題解決的に掲載し、地図の見方では色分けをして示している。また、日本の地理的環境と歴史的事象について、地図に写真やイラストを加えて示している。統計では、都道府県別の統計、主な農産物の生産、主な工業の生産額、日本の農産物の輸入先が示されている。巻頭の「世界発見！」では民族衣装やあいさつの言葉、巻末の「世界の国々」では世界の国旗、「世界の各地方図」では地域の国旗や特色を示すイラストや写真等を掲載している。さらに、日本の貿易、日本の食料自給率、日本と諸外国との結び付き、オリンピック・パラリンピックについて示されていることにより、国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てていくことができる。</li> <li>○「索引」は、それぞれの項目を種類ごとに5種類の色と記号で区別して掲載し、主体的に学習に取り組む工夫がなされている。</li> </ul>
算数	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本の定着については、数学的活動を通して、日常の事象や既習事項とのつながりから単元の導入がなされている。生活場面から「どうして間違いが起きたか」を考えさせるようにし、児童の考えを発表する形で学習過程を提示している。</li> <li>○数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫として「学習の進め方」が提示されており、説明の仕方が手掛けかりとして例示されているので、説明する活動が展開しやすい。また、「考えがよくわかる わくわく算数ノート」では、ノートの書き方のポイントが例示されている。「みんなのノート」では、ノート作りの工夫例が示されている。</li> <li>○具体的な体験を伴う学習を実施するための工夫として、測定領域の学習場面を、第1学年13、第2学年19、第3学年11と、多様に設定している。</li> </ul>
理科	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「理科の広場」「つなげよう」において、学習した内容を実生活・実社会に関連付けて掲載している。また、「活用しよう」では、日常生活での現象を取り上げ、児童が説明する活動を位置付け、知識や概念の定着を図りながら理解を深めることができる。</li> <li>○観察・実験の技能を習得させるための工夫として、準備物を表記し、番号を付けて手順を示している。二次元コードを利用した安全に対する配慮として、危険や配慮を伴う内容の記号、赤文字で注意マークを示している。また、実験の別の方法も示している。</li> <li>○観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫では、「結果から考えよう」をキーワードに、キャラクター</li> </ul>

		の子ども達の吹き出しで結果を比べる視点を示し、考察できるようにしている。また、「まとめ」として、関連付けられた結論の記述、既習内容との比較を用いた記述をしている。
生 活	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫では、上巻では、小動物（ウサギ）とのふれあいや観察を中心に活動を設定している。下巻では、おたまじやくし、クワガタ、カブトムシ、海のカニなどを取り上げている。そのため、体験を仕組みやすくなっている。</li> <li>○「つうがくの あんしんあんぜん」「がっこうの あんしんあんぜん」等のページを設けている。また、巻末の「がくしゅうずかん」に、道具の安全な使い方、探検に関する安全、交通安全、乗り物の乗り方、自分の身の守り方、災害発生時の行動の仕方について掲載している。そのため、生活上必要な習慣や技能を身に付けることができる。</li> <li>○主体的に学習に取り組む工夫としては、幼児期の様子を踏まえながら、スタートカリキュラムの内容が設定されているため、興味・関心を高めることができる。</li> </ul>
音 楽	教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に学習に取り組む工夫として、題材に即した音やリズムを活かした旋律づくりがある。また、旋律づくりの手順が図や色分けで示されている。また、カードの並べ替えを通して、旋律づくりに興味をもたせている。</li> <li>○声の響きが重なるおもしろさを生かした音楽づくりでは、「ツツタツ」「タン」などの言葉の例や音の高さを考えさせる支援、3段のワークシートに直接書き込み3人でのアンサンブルの楽譜がつくれるような工夫がある。</li> <li>○身近な音から音楽的な活動を取り入れている題材もある。中学年ではインタビュー、高学年の巻頭には表現者からのメッセージが掲載されている。</li> </ul>
図画工作	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○題材の目標・振り返りの示し方については、学習のめあてを3観点で示し、特に重点的に育てたい力には朱書きと下線で示している。また、主たる観点に対応したキャラクターが、学習を深める支援をしている。さらに、全学年において、巻末に「造形の引き出し」を設け、学年に応じて必要な用具の扱い方や技法、材料についてイラストや写真を使って説明している。</li> <li>○主体的に学習に取り組む工夫として、自分たちの作品や身近な材料から制作過程や身近な美術作品、国内外の親しみのある美術作品、生活の中の造形へと鑑賞の対象を広げている。また、全学年において「みんなのギャラリー」を設定し、日本各地の伝統と文化に触れることができるようしている。</li> </ul>

家庭	開隆堂	<p>○基礎・基本の定着については、全題材が2～3の小題材から構成されている。課題解決的な学習を実現するために、「1 見つける・気づく」「2 わかる・できる」「3 生かす・深める」の3つのステップを基本として構成している。第5学年は、題材を細かく構成・配列し、スマートステップで学習ができるようにしている。また、ステップごとに振り返りをしたり、実習時における安全面の重視と衛生面の注意を促すためのチェック項目を設けたり、基本的な技能の習得のためにコンテンツを利用したりできるようにしている。</p> <p>○主体的に学習に取り組む工夫として、学習指導要領に新設された「A家族・家庭生活」「(4) 生活の課題と実践」に対応したページ「レッツトライ 生活の課題と実践」を、第5学年と第6学年の間に掲載している。また、各題材の最後に設けられた「生活に生かそう」の欄において、学習内容を生活に結び付ける活動例を19か所示すとともに、自分の考えを記述する枠を設けている。</p>
保健	学研	<p>○基礎・基本の定着については、「あなたはどんなことを学習してみたいですか」という問い合わせとともに、学習課題につながる吹き出しを掲載することで、児童が自ら課題をもち、主体的な学習に向かうようにしている。また、導入「つかむ」では、自分の生活をチェックしたり、確かめたりして、学習の動機付けにつなげることができる。</p> <p>○健康について自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫として、巻頭の「楽しく学ぼう！保健の学習」で1時間の学習の進め方を紹介している。また、「『保健の見方・考え方』を使おう。」では、保健の見方・考え方とはどのように見たり考えたりすることかを吹き出しが紹介している。</p>
英語	東書	<p>○主体的に学習に取り組むため、興味・関心を高める工夫として、見開きページを活用して、「単元名」「学習のめあて」とともに、世界の建物や食べ物等の写真やイラストを掲載している。また、二次元コードを活用し、世界の有名な建物や食べ物等について、聞く・読む・書く活動、歌、チャンツを設定している。</p> <p>○単元等における振り返りでは、単元ごとではなく、自分が行ったスピーチについて、2観点で振り返りを行う設定となっているため、学習の焦点化がしやすい。</p> <p>○知識・技能の活用を促す工夫としては、各単元の終末「Enjoy Communication」において、話す活動を設定している。また、3回の「Check Your Steps」でも、習得した知識・技能を活用するスピーチ活動を設定している。</p>

道徳	日 文	<p>○現代的な課題等を踏まえた内容の示し方については、「人との関わり」をテーマに複数の教材や関連するコラムの1つを「いじめ防止」のユニットとして、いじめを直接的に扱う教材と間接的に扱う教材にコラム「心のベンチ」を組み合わせて学期に1回ずつ設けている。また、「いじめ防止」にかかわる教材の一部では、問題解決的な学習や役割演技を用いた体験的な学習等を取り入れている。</p> <p>○考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫として、「今日の学習はどうでしたか。あてはまるところに○をつけましょう」(38回分)を位置付けている。また、別冊「道徳ノート」に学習を振り返って自己評価をマークで書く欄を設けたり、「道徳の学習で学んだことを書きましょう」(4回分)を設定したりするなど、学習を振り返り、成長が実感できるページが位置付けられている。</p>
----	-----	---